



第6号令和6年10月4日発行

■第1回学校アンケートについて

校長 井上 雅子

第一回の学校評価アンケートを7月に実施いたしました。アンケート項目のうち生徒、保護者、教員の結果を比較できるものについてまとめました。ご協力ありがとうございました。（保護者275名の回答）

***数字は「そう思う」「どちらかというと思う」を合わせたもの。 令和5年第一回→令和6年第一回)**

○生徒は学校に行くのが楽しい 【生徒】87%→89% 【保護者】89%→82%

○学校はわかりやすい授業をすすめるための様々な工夫をしている

【生徒】昨年度から教科ごとの授業アンケートで実施。【保護者】70%→72% *「教職員については、今年度から「わかる授業」ではなく、目標の提示、机間指導や指導内容や方法等の具体的な4項目の問いにしています。」

○時間、挨拶、言葉遣いなど集団のルールやマナーを守り規則正しい学校生活を送っている *教職員については、「生徒に挨拶や言葉遣い等のルールやマナーの大切さを伝え、規範意識を高める指導を行っている」という質問です。

【生徒】95%→84% 【保護者】82%→90% 【教職員】100%→100%

○学校でいじめられたり、無視されたりすることなく安心して活動できる

【生徒】91%→96% 【保護者】76%→81% 【教職員】100%→100% *教職員については、「生徒がいじめられたり無視されたりすることなく安心して活動できるように教員間で生徒情報の共有を積極的に行っている」という質問です。

○学校は日頃から生徒からの相談に積極的に応じている 【生徒】94%→96% 【保護者】60%→69%

○お互いが協力して、生徒会活動、委員会活動、学級の班や係活動に前向きに取り組んでいる。

【生徒】95%→97% 【保護者】89%→87% 【教職員】100%→90% *教職員については、「学校は生徒が学年・学級への所属感や自己有用感をもてるように学校行事や生徒会活動、部活動を充実させている」という質問です。

○学校は進路や職業の学習により自分の将来や「夢の実現」に向けた取り組みや指導をしている

【生徒】83%→86% 【保護者】68%→78% 【教職員】100%→96%

○学校は、学校、学年だより、学校HPなどを充実させ学校の取組や生徒の様子を発信している

【生徒】96%→96% 【保護者】90%→93%

○タブレットを家庭学習でも活用している。【生徒】53%→57% 【保護者】52%→54%

○タブレットを利用のきまりを守って使用している。 【生徒】96%→98% 【保護者】74%→79%

ほとんどの項目で、昨年の第一回より少し向上した数字で、おおむね肯定的な意見をいただいていることは評価できます。「生徒は学校へ行くのが楽しい」では、「そう思う」「どちらかというと思う」を合わせた数字は昨年とほぼ変わりませんが、「そう思わない」「わからない」の生徒や保護者が10%いることについては、生徒の様子の変化や気持ちに寄り添う働きかけが必要です。

「学校でいじめられたり、無視されたりすることなく安心して活動できる」という項目では、「そう思う」「どちらかというと思う」を合わせて、生徒については96%で、多くの生徒が「学校はいじめがなく安心で安全な場所である」と感じていることについては大きく評価できます。しかし保護者については、81%と生徒の数字より低く、本校のいじめ対策に不安をもっていることを受け止め、今後も、全教職員が生徒の様子を見守り、日常の観察を丁寧に行うことと聞き取りによるいじめやトラブルの早期発見、生徒への教育的な支援を全校をあげて行っていかなければなりません。

また一人1台のタブレット端末が配布されて3年目となり、授業で毎日活用しているところです。「タブレットを利用の決まりを守って使用することができている」では、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を合わせて、生徒は98%でと微増しているのに対し、保護者は79%と低い数字であり、もう少し学校及び家庭のルールを徹底していく必要があります。また「タブレットを家庭学習でも活用している」では「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を合わせると、生徒は57%、保護者は54%と昨年と変わらず課題です。家庭学習で活用することを各教科で進めてまいります。

詳しいデータは既に生徒に配布しています。また第二回を12月に実施予定です。よりよい学校改善のためにどうかご協力ください。

■2年間の東京都人権尊重教育推進校として全教員の研究授業を開始

4月より、「自尊感情を高め、主体的に考え行動する生徒の育成～互いに認め合い支え合う関係づくり～」をテーマに2年間の東京都人権尊重教育推進校の研究を行っています。2学期は全員の教員が人権の視点を大切にした研究授業を行います。その第一弾として、1年生の家庭科で単元「私たちの住生活」の中の「家族が暮らしやすい住まい方を考える」授業で人権課題「高齢者」に取り組みました。「高齢者の身体の特徴を理解し、高齢者にあった住まいを考える」ことをねらいに、高齢者の疑似体験を通じて、高齢者とのようにふれ合うべきか考えました。また理科では「密度」の単元で、質量をもとに物質を区別する方法を考えることを通じて、人権教育の普遍的な視点から「技能的側面」の「協力的、建設的に問題解決に取り組む能力」を育成することを大切に行いました。

■職場体験（2年生）とIJ学級職場訪問

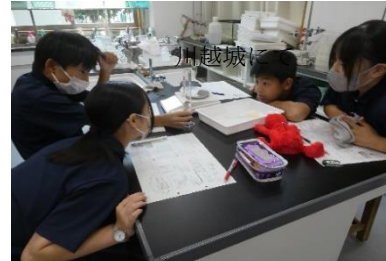
今年度は職場体験を一日増やし、2日間行いました。事前にマナー講習、訪問先へのアポイントなどを行い、十分に準備を行って当日の体験をさせていただきました。全部で50箇所ほどの事業所で体験させていただきました。有意義な体験となり、事業所の方には本当に感謝いたします。

IJ学級では、職場を訪れ見学することを通じて、働く事の意義ややりがいを感じることができ、将来を考える機会とするために毎年実施しています。今年度は、外食をすることで必要なルールやマナーについても学びました。

旭製菓（西東京市）、イオン東久留米店（東久留米市）、住友重機械工業株式会社（西東京市）、東京アフターケア協会（清瀬市）、三越伊勢丹ソレイユ（新宿区）の5カ所を班ごとに訪問しました。



1年生家庭科 高齢者疑似体験



1年生理科 密度の実験



IJ学級職場訪問（イオン）



■初めての校外学習

秋晴れの中、1年生が川越の校外学習に出かけました。初めての班行動でしたが、ほとんどの班があらかじめ決めていたコースを時間通り、班で協力しあって見学することができました。また1学期から総合的な学習の時間で学習しているSDGsについても一人一人が調査研究してくることができました。また見学場所ではマナーを守るとても立派な態度でした。事後学習で、まとめの学習を行います。

■生徒の活躍

- 美術部 はたらく消防の写生会 優秀賞(消防総監賞) (2-E)
- 男子バスケットボール部 市内新人大会 準優勝 ○女子バスケットボール部 市内新人大会 優勝
- ソフトテニス部 ブロック新人大会 準優勝 (都大会出場決定)
- 第72回東京都学年別水泳競技会出場(1D) ○全日本サーフィン選手権大会出場(1D)
- オールジャパン全国大会出場(野球)(3B)(3C)(3D)
- 日本バスケットボール協会主催U14ナショナル育成センターキャンプに参加(2E)

